

基 本 調 査 票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 6 年 10 月 24 日

設置・運営主体	HITOWAキッズライフ株式会社		
設置主体			
経営主体	HITOWAキッズライフ株式会社		
事業所名 (施設名)	太陽の子堀の内保育園	種別	保育所
所在地	〒 330-0804 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1丁目178番地1		
電 話	048-650-6611		
FAX	048-650-6612		
Email	taiyo-horinouchi@hitowa-kids-life.com		
URL	https://www.kidslife-nursery.com/facility/saitama/saitamashi/horinouchi/		
施設長氏名	園長 樋口 理恵子		
調査対応担当者	園長 樋口 理恵子 (所属、職名：施設長)		
利用定員	70 名	開設年	平成 27 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
【保育理念】「つながり保育」 「心が動く体験」と「豊かな対話」で、繋がりを創造する 【保育方針】「のびのび すくすく にこにこ」 ・安心できる人間関係の中で、多様性を尊重します ・心の動く体験と深い対話で学びのプロセスを大切にします ・子どもの「やりたい」から始まる保育環境をデザインします ・学び続け、専門性を発揮するチーム保育を行います			
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日～金曜日 7:30～18:30 (延長保育18:30～20:00) 土曜日 7:30～18:30		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	3	3	1		1
1歳児	12	12	1		2.75
2歳児	12	12	1		2
3歳児	13	13	1		1.53
4歳児	15	10	1		1
5歳児	15	14	1		1
計	70	64	6	－	－
（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。					

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		11.38 人	
うち	保育士	9.5 人	保健師・看護師 0 人
	栄養士・調理員	1.88 人	その他（ ） 人
非常勤職員数		人（常勤換算 人）	
うち	保育士	6 人（常勤換算 3.9 人）	
	保健師・看護師	0 人（常勤換算 人）	
	栄養士・調理員	人（常勤換算 人）	
	その他（保育補助・調理補助）	2 人（常勤換算 0.79 人）	
（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。			
（２）前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 2 人	非常勤： 3 人
	退職	常勤： 2 人	非常勤： 1 人
（３）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		36.5 歳（ 35.7 歳）	
（４）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		4.3 年（ 3.6 年）	
（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。			

(保育所の場合)

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

- ・令和 5 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

○人

- ・ボランティアの業務

--	--

・令和 5 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 0 人

介護福祉士 0 人

その他 0 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	425.35 m ²	
	児童1人あたり	6 m ² (計算式：建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	183.08 m ²	
	児童1人あたり	2.6 m ² (計算式：園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
	耐震	☒ 1. はい ☐ 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年 令和 27 年		

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・毎年、年度末に本社保護者アンケートを取り、集計結果や、頂いたご意見の改善策などを園内で話し合い、共有後結果を保育園の自己評価とともに1階廊下に掲示し日々の保育に役立てている。
 ・ご意見箱を常に玄関靴箱の上に設置している。
 ・行事ごとにアンケートを依頼し、改善点などをスタッフで共有しながら次回につなげている。
 ・年2回、運営委員会を実施し、各クラスの意見をクラスの代表の保護者に発表して頂き、改善できる所は見直しをしている。
 ・日頃から保護者とのコミュニケーションを心がけ、何か気になることがあればいつでも事務室に声がけしやすい雰囲気づくりをしている。

【その他特記事項】

貴施設(事業所)の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

1日の中で、朝夕などの合同保育時間を工夫し、なるべく移動を少なくしているので、1つの部屋で落ち着いてじっくりと遊びに取り組んでいる。
 子どもの「やりたい」を大切に、子ども主体の保育を園全体で取り組んでいる。
 子どもにしっかり寄り添い、子どもがいろいろなことを自分で選択できるように保育している。
 【食育】毎月、0～5歳児が旬の食材に触れたり、クッキングを楽しんだりしている。うどん作りでは4・5歳児を中心に全クラスが関り、幼児クラスでは5歳児がうどん屋さんになり3・4歳児に提供した。
 【絵本】絵本を保育にも多く取り入れている。他園と巡回絵本として2か月ごとに70冊の本を回すことで、よりたくさんの絵本にも触れる機会を会社ぐるみで設けている。
 【ふぁんぱりん】本社から外国人リーダーを月に2回派遣され、英語の歌やリズム遊び、ゲームなど英語に触れる機会を作っている。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数(前回の受審時期)

_____ 回 (平成 _____ 元 _____ 年度)